

令和3年度学長戦略経費(重点分野研究プロジェクト)実績報告書

(令和4年1月)

研究代表者氏名(所属・職名)	中島 寿宏 (札幌校・准教授)		
プロジェクトの名称	大学・教職大学院・学校の連携による対話的学習に向けたカンファレンスシステムの構築		
共同研究者氏名(所属・職名)	●中島寿宏(札幌校・准教授) 神林勲(札幌校・教授) 石澤伸弘(札幌校・教授) 森田憲輝(岩見沢校・教授) 姫野完治(教職大学院・准教授) 山口修司(札幌市立西野中学校・教諭) 河本岳哉(附属札幌小学校・教諭) 飯島孝行(札幌市立向陵中学校・教諭)		
研究プロジェクトの概要			
<p>本研究課題では、<u>小・中学校における各教科授業内の学習者の対話的活動に影響する教師の指導技術向上を目指し、大学・大学院・教育現場が連携したカンファレンスシステムの構築とその具体的効果としての子どもの学力・体力への影響を検証すること</u>を目的とする。本研究課題は第3期中期目標のひとつである、「北海道の喫緊の教育課題である『子どもたちの学力・体力』の問題には、具体的な成果を検証する形で取り組んでいく」に対応する。まずは、(1)大学・教職大学院・教育現場が協働して、授業での子どもたちの対話的活動を可視化データによって分析・解析・協議を行い、各専門家の視点から各教科に応じた授業改善方法について検討する。次に、(2)継続的な授業カンファレンスを実施し、授業改善に向けた具体的な手法について授業実践から再検討を行う。さらに、(3)各教科授業における児童生徒の対話的活動状況と子どもたちの学力・体力の変容について縦断的検証を行うことで授業改善による学習成果を評価する。特に、本研究課題では、最新のセンシングツールによってデータ化された児童生徒の対話的学習状況について、<u>大学・大学院・附属学校・教育現場が連携・協力して授業改善に取り組む</u>ことで、各教科授業での効果的なアクティブ・ラーニング実現を目指すことが特徴である。</p>			
達成度	1	←番号を記入	1 計画とおり達成した 2 概ね達成した 3 あまり達成できなかった 4 全く達成できなかった
研究実績の概要			
<p>今年度は、昨年度に引き続いて新型コロナウイルス感染拡大により、計画していたスケジュール通りに調査・研究が進まなかった部分はあった。しかしながら、最終的には予定していた調査すべてを遂行することができ、想定以上の研究成果を得ることができたと考える。今年度の現時点までの成果として、次の5点が挙げられる。</p> <p>1) 小学校・中学校を対象として、単元全体を通した一連の授業についての調査・分析をもとにしたオンラインでの授業カンファレンスを実現することができた。単元の授業実施期間中に参加者による具体的なアイデアを交流することで即時的な授業改善に結びつけることができた。本研究課題で構築したシステムは、北海道教育委員会の小学校体育専科事業でも活用され、教育現場での実装が実現したと考えられる。</p>			

2) 可視化データを共有することでカンファレンスにおける協議の視点が焦点化され、授業改善に必要なディスカッションに集中することができた。本研究課題での取組は、札幌市教育委員会の体育授業改善プロジェクトにおいても実証研究として成果を上げている。

3) オンラインでの授業カンファレンスでは、現職小中学校教諭、大学教員、大学院生、教職大学院生、企業といった様々な職種・立場からの参加があり、授業改善への多様な視点からのディスカッションが実現できた。

4) オンライン授業カンファレンスは同時双方向での実施ではなく、データの共有と掲示板でのディスカッションを中心に進めたため、参加者それぞれが各自の都合の良い時間にディスカッションに加わることが可能であり、結果として多くの参加者による協議が行われた。

5) 新型コロナウイルス感染拡大の防止という観点から対面・集合した状態での授業見学および協議の実施が難しい現状において、移動の必要がなく対面しない状態での授業カンファレンスの実現が可能であった。

研究成果の公表実績

【著書】

- 1) ICT×体育・保健体育 GIGAスクールに対応した授業スタンダード。中島寿宏・鈴木直樹ほか。明治図書出版。2021年。
- 2) GIGA スクール時代における体育の「主体的・対話的で深い学び」—Society 5.0 がもたらす体育のコペルニクスの転回—。中島寿宏・鈴木直樹ほか。創文企画。2021年。
- 3) 主体的・対話的で深い学びをつくる！教師と子どものための体育の「教科書」低学年。鈴木直樹・石井卓之・中島寿宏・濱田敦志・鈴木一成・細川江利子。明治図書出版。2021年。
- 4) 主体的・対話的で深い学びをつくる！教師と子どものための体育の「教科書」中学年。鈴木直樹・石井卓之・中島寿宏・濱田敦志・鈴木一成・細川江利子。明治図書出版。2021年。

【学術論文】

- 1) 河本岳哉・梅村拓未・高瀬淳也・高橋正年・村上雅之・中島寿宏、中学校体育授業における対話的活動と体育勤勉性および運動への意識との関係、北海道教育大学紀要（教育科学編）71(2), pp 303-308, 査読なし。
- 2) 村上雅之・梅村拓未・高瀬淳也・高橋正年・河本岳哉・中島寿宏、教職経験豊富な小学校教師の体育授業における子供へのかかわりに関する研究—ボール運動单元における教師の発話および子供の振り返りに着目して—、北海道教育大学紀要（教育科学編）、71(2), pp295-302, 査読なし。
- 3) 梅村拓未・中島寿宏・高瀬淳也・高橋正年・河本岳哉・山本理人、性別および学年による体育・運動への意識の差異に関する検討—札幌市内の小・中学生を対象とした横断的調査—、北海道教育大学紀要（教育科学編）、71(2), pp 285-293, 査読なし。
- 4) 梅村拓未・高瀬淳也・高橋正年・河本岳哉・村上雅之・中島寿宏、小学校体育授業における熟練教師の指導技術に関する研究-授業計画に対する意識および児童とのかかわりに着目して-。北海道体育学研究, 56, pp19-32. 査読あり。招待あり。
- 5) 高橋正年・砂川龍馬・田外真也・高瀬淳也・河本岳哉・村上雅之・梅村拓未・中島寿宏、中学校柔道授業における付加的フィードバックの情報源の違いが運動の知識及び技能の習得に及ぼす効果—生徒の言語的コミュニケーションの内容に着目して—。東海大学国際文化学部紀要, 13, pp1-15. 査読なし。

【学会発表】

- 1) 児童生徒の1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集作成委員会（スポーツ庁委託事業）成果報告会。2022年2月10日。神奈川県横浜市。中島寿宏。対話を促すICT活動，教員研修。500名。
- 2) 第10回大阪大学COIシンポジウム。2022年1月21日。中島寿宏。子どもの健やかな脳の発達 - 子供の教育環境の改善・コミュニケーション向上。300名

- 3) 北海道体育学会70周年兼第60回記念学会大会. 2021年12月5-6日. 北海道札幌市. 中島寿宏. 可視化データを活用した教師の指導技術の分析と体育授業改善の取組. 150名.
- 4) 北海道体育学会70周年兼第60回記念学会大会. 2021年12月5-6日. 北海道札幌市. 浅野勇・村上雅之・河本岳哉・北條朱音・中島寿宏. 児童の学級集団意識の違いが体育授業における学習行動に及ぼす影響-単元を通じた身体活動量及びコミュニケーション量に着目して-. 150名.
- 5) 北海道体育学会70周年兼第60回記念学会大会. 2021年12月5-6日. 北海道札幌市. 河本岳哉・高瀬淳也・高橋正年・村上雅之・浅野勇・中島寿宏. 小学校体育学習における目標志向性のタイプ別からみた動機づけ雰囲気の比較. 150名.
- 6) World Association of Lesson Studies 2021 Conference. 2021年11月29日～2021年12月02日. Online(Hong-kong). Naoki Suzuki , Koji Murase, Takuya Fujimoto, Seiji Ookuma, Toshihiro Nakajima, Mizuho Shiozaki. Achievements and Challenges of Lesson Study that Introduced Interactive Lesson Observation via 360-degree Live Streaming. 500名.
- 7) 日本スポーツ教育学会第41回大会シンポジウム. 2021年10月31日. オンライン(福岡市). 中島寿宏. 可視化データを活用した体育授業の改善. 300名. 招待講演.
- 8) 日本スポーツ教育学会第41回大会. 2021年10月29日～11月8日. オンライン(福岡市). 浅野勇・河本岳哉・中島寿宏. 児童の学級集団意識の違いが体育授業における発話及び振り返りに及ぼす影響 -発話内容及び学習カードの記述内容に着目して-. 300名.
- 9) 日本スポーツ教育学会第41回大会. 2021年10月29日～11月8日. オンライン(福岡市). 近藤佑斗・浅野勇・北條朱音・中島寿宏. 小学校体育授業における学年の違いによる教師の言語的かかわりの違い. 300名.
- 10) 日本スポーツ教育学会第41回大会. 2021年10月29日～11月8日. オンライン(福岡市). 河本岳哉・高瀬淳也・高橋正年・村上雅之・浅野勇・中島寿宏. 小学校体育授業における学年の違いによる教師の言語的かかわりの違い. 300名.
- 11) 日本スポーツ教育学会第41回大会. 2021年10月29日～11月8日. オンライン(福岡市). 佐藤豊・本多壮太郎・吉野聡・中島寿宏・大越正大・高橋修一・石川康成・清水将・木原慎介・椿ちか子. 体育科・保健体育科におけるICT活用の実態調査①. 300名.
- 12) 日本スポーツ教育学会第41回大会. 2021年10月29日～11月8日. オンライン(福岡市). 高橋正年・高瀬淳也・河本岳哉・村上雅之・中島寿宏. 体育授業における付加的フィードバックと学習効果との関係 -中学校マット運動の学習の分析から-. 300名.
- 13) 日本スポーツ教育学会第41回大会. 2021年10月29日～11月8日. オンライン(福岡市). 北條朱音・浅野勇・中島寿宏. 中学校特別支援学級における教師の体育指導の特徴 -体育指導における意識と言語的な関わりに着目して-. 300名.
- 14) 日本体育科教育学会第26回大会シンポジウム. 2021年6月27日. オンライン(水戸市). 大熊誠二・鈴木直樹・村瀬浩二・石井幸司・中島寿宏・元安陽一. テクノロジーを活用した GIGA スクール時代の体育授業の作り方～未来の体育への Gateway～. 150名.
- 15) 令和3年度大阪大学COI オンラインサイトビジット. 2021年6月25日. オンライン(大阪府吹田市). 八木健・中島寿宏・馬込卓弥・合田徳夫・田中毅. ユースケース3: コミュニケーションの可視化による教育現場の活性化. 300名.
- 16) 日本運動・スポーツ科学学会第28回大会. 2021年6月6日. オンライン(札幌市). 北條朱音・梅村拓未・浅野勇・大山綾花・近藤佑斗・中島寿宏. 体育授業における言語的コミュニケーションと学級雰囲気の関係. 150名.
- 17) 日本運動・スポーツ科学学会第28回大会. 2021年6月6日. オンライン(札幌市). 近藤佑斗・梅村拓未・浅野勇・大山綾花・北條朱音・中島寿宏. 体育授業における単元を通じた教師の言語的かかわりが生徒の思考に及ぼす影響 -教師の発話と学習カードの記述内容に着目して-. 150名.

【普及啓発イベント、セミナー、研修会等】

- 1) 令和3年度第3回北海道体力向上推進会議(北海道教育委員会小学校体育専科教員事業). 2021年12月14日. 1人1台端末を効果的に活用した体育・保健体育の授業実践. オンライン(札幌市). 100名.

- 2) 学校令和3年度北海道登別明日中等教育進路ガイダンス講演会. 2021年12月21日. 可視化データを活用した教師の指導技術分析および授業改善への応用. 登別市. 150名.
- 3) 令和3年度北海道教育委員会中学校授業実践セミナー(道南ブロック). 2021年11月25日. 中学校保健体育授業における主体的・対話的で深い学び. 北斗市. 100名.
- 4) 公益財団法人日本スポーツ協会 北海道ブロッククラブネットワークアクション2021. 2021年10月31日. GIGAスクール構想とICT技術を活用した体育授業 - 「つながり」を生み出す授業者のかかわり-. オンライン(札幌市). 200名.
- 5) 令和3年度北海道教育委員会中学校授業実践セミナー(道央ブロック). 2021年10月19日. 中学校保健体育授業における主体的・対話的で深い学び. オンライン(札幌市) 100名.
- 6) 令和3年度新潟市小学校教育研究会体育部授業研究会. 2021年7月7日. 体づくりとICTの「Collaboration」. オンライン(新潟市). 100名.

【研究成果の紙媒体、報告書、研修資料等】

- 1) 内田洋行教育総合研究所「学びの場.com」教育リサーチ. 2022年1月. オンライン.
- 2) 運動習慣・生活習慣・学力などの関連性(札幌市教育委員会「子どもの体力向上」に係る調査委託研究報告書). 2021年12月17日. 300部. 札幌市内小学校・中学校.

【関連URL】